

【社会福祉学科 2025年度入学生】

生活の質の向上に必要な基礎理論と技術について教授・研究し、幅広い教養及び深い専門的知識を修得することで、福祉の向上と社会の発展に寄与できる人材を養成することを目的とします。そのため、社会福祉学科では、以下の3コースを設置しています。

（１）介護福祉コース

介護の学習を基礎として、介護現場でのレベルアップにつながる実践力を学習するコースです。従来の介護福祉士の役割に加え、認知症ケアや医療的ケアなど一人ひとりの心身の状態に応じた介護や、災害時の介護、介護施設の運営・管理など社会的貢献の実践力を学びます。

教育のねらい

- ①介護の基礎と応用を習得し、認知症や身体の機能障害をもつ高齢者などの介護支援ができる力をつけます。
- ②介護の必要となるおそれのある方や、障がいが重度化していく方に対して、介護予防や医療的ケアができる力をつけます。
- ③高齢者や障がい者などの地域生活のあり方について考え、その日常の環境づくりを図るとともに、災害時の介護支援ができる力をつけます。

（２）ビジネスデザインコース／医療事務コース

この2つのコースでは、職業人としての実践的な就業力を身につけることを目指します。ビジネスデザインコースでは、仕組みを知る力と言語化力を基礎とした仕事力育成手順を学び、就業力をベースとしたライフデザイン能力を身につけます。医療事務コースでは、医科医療事務や調剤事務、歯科助手資格など、医療現場で活かせる技能を身につけ、一生を支える資格取得を目指します。

教育のねらい

- ①仕事力の基盤となる仕組み化力と言語化力を身につけ、実践的な就業力をもって社会で活躍できる力をつけます。
- ②オリジナルコミュニケーション科目の充実により、人とのつながりに関する基礎を学び、人生における生活の充実を深く理解して活動できる力をつけます。
- ③医療事務などの実務力や、有給インターンシップなどの体験学習を通して、具体的な就業力を養成し即戦力として活躍できる力をつけます。

(3) 卒業要件

本学の社会福祉学科を卒業するためには、次の一覧表に示した条件を充たさなければなりません。

科目種別	単 位 数	必 修 科 目
基 礎 科 目	16単位以上	キリスト教概論 (2単位) 基礎ゼミナール (2単位)
専 門 科 目	50単位以上	地域総合演習 (2単位)
計	66単位以上	

(4) 資格について

介護福祉コース

介護福祉士受験資格
社会福祉主事任用資格
レクリエーション・インストラクター
普通救命講習修了証
リフレクソロジスト（本学認定資格）

ビジネスデザインコース/医療事務コース

医科医療事務技能認定 ※
調剤事務管理士 ※
歯科助手乙種第一・乙種第二
医科医療事務管理士 ※
秘書検定 ※
リフレクソロジスト（本学認定資格）
接客サービスマナー検定 ※
その他、ビジネス系資格

※の資格取得には、外部団体の検定等の合格が必要になります。

これらの資格を取得するには、卒業単位とは別に取得しなければならない科目があります。科目表やオリエンテーションでの説明に注意し、間違えないように履修して下さい。なおこのうち、「レクリエーション・インストラクター」の関連科目を履修するには、別途履修料が必要です。詳細は、オリエンテーションで指示します。

以上の資格の他、社会福祉学科では、関連授業の開設や本学シティカレッジの講座受講により、次の資格の取得を支援しています。

福祉住環境コーディネーター（2級・3級）→ 関連授業「高齢者と住まい」
ドックケアセラピスト → リラクセーション・ケアⅠ＋シティカレッジ講座

(5) 介護実習について

介護福祉士受験資格を取得するためには、資格の必修となっている介護実習を履修し、単位を修得しなければなりません。本学では「将来、介護福祉士としての望ましい資質をもつと認められた者」にのみ、実習への参加を認めています。

ここでは、みなさんが実習に参加できる必須条件を掲げます。日頃から真剣に学習に取り組み、実りある実習につながるよう心がけましょう。

【実習参加の必須条件】

- ① 所定の期日までに、実習に関する諸手続を完了していること。
- ② 実習費が所定の期日までに納められていること。
- ③ 講義などへの出席が順調で、かつ学生生活全般に対する積極的な意欲が充分認められること。
- ④ 「介護総合演習」は全出席を原則とする。
- ⑤ 各実習において次の履修条件を充たしていること。

【介護実習に関する履修条件】

実 習 科 目	各実習が実施されるまでの期間に3分の2以上出席していなければならない科目	各実習が実施されるまでの期間に5分の4以上出席していなければならない科目
介護基礎実習 地域介護実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた1年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅰ 介護総合演習Ⅰ
介護過程実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた1年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅱ 介護過程Ⅱ 介護総合演習Ⅱ
介護総合実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた2年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅲ 介護過程Ⅲ 介護総合演習Ⅲ

※実習に関する規程は、大学ホームページに掲載されていますので確認してください。

(6) 介護福祉士受験資格について

介護福祉士の資格を得るためには、介護福祉士国家試験を受験しそれに合格しなければなりません。

本学科では介護福祉士受験資格を取得するため、以下の要件を全て満たすことが求められます。

【介護福祉士受験資格の取得要件】

介護福祉士の受験資格を得るためには、次の要件を原則として全て満たさなければいけません。

- ①介護福祉士全国模擬試験を受験していること。試験の対策講座に出席していること。
- ②指定された試験の対策講座に出席していること。
- ③学科会議において介護福祉士としての資質があると認められた者。
- ④「介護福祉士国家試験対策講座」は全出席を原則とする。

(7) 中部学院大学への編入について

社会福祉学科からは、併設する中部学院大学への3年次編入が可能です。

この編入について、中部学院大学では単位認定制度を設けています。これは、短大で修得した科目の単位を大学の卒業単位として認めるもので、編入後に修得すべき科目数を軽減し、無理なく資格の取得などができるよう配慮しています。

この単位認定は、大学を卒業するための卒業必修科目についても行われます。ただし、認定はそれまでにみなさんが修得した科目のうち、大学で開講される科目と類似した科目の場合にのみ可能です。つまり、中部学院大学の卒業必修科目に類似した科目を短大時代に修得しておけば、編入後の負担が少なくなるということです。

下記の表は、中部学院大学卒業必修科目のうち、みなさんが短大で修得でき編入する際に単位認定される可能性が高い科目との照らし合わせをした表です。編入を考えている方は、なるべく短大時代にこれらの科目を修得されることをお勧めします。

＜人間福祉学部へ編入する場合＞

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論
言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)
言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)
人間福祉入門	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉基礎演習Ⅰ	基礎ゼミナール
人間福祉基礎演習Ⅱ	地域総合演習 / 専門ゼミナール
人間福祉専門演習Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉専門演習Ⅱ	

基礎科目（社会福祉学科）

領 域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンシ ンリ パ ー ル	授 業 科 目	単位 数	授業 形態	配 当 学 期				介護福 祉士	備 考
											1 年 次		2 年 次			
											前期	後期	前期	後期		
人間と 社会	3	1	1	2	1	1	0	1 ☆キリスト教概論	2	講義	◎					
	3	1	1	2	1	1	0	2 キリスト教文化	2	講義		○		○		
	3	1	1	2	1	1	0	3 キリスト教と音楽	2	講義		○		○		
社会と 文化	3	1	2	2	1	1	0	6 ☆文学と人間	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	7 ☆哲学の基礎	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	8 ☆歴史と人間	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	6 生活と文化	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	0	2 ☆社会学	2	講義	○				◎	介護：人間と社会
	3	1	2	2	1	1	0	4 ☆日本国憲法	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	2	2	1	1	2	0 ☆ジェンダー論	2	講義						未開講
	3	1	2	2	1	1	0	9 ☆現代社会と情報	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	3 ☆ボランティア実践論	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	1	0 ☆情報活用論	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	7 ☆統計学	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	0	5 ☆ボランティア活動論	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	2	2	1	1	1	8 ☆倫理学の基礎	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	1	1 ☆法学	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	2 ☆経済学	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	3 ☆政治学	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	4 多文化コミュニケーション	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	9 仕事と人生	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	1	5 美濃と飛騨のふくし	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	2	1 ライフステージと法	2	講義		○				
	3	1	2	2	1	1	0	1 教養基礎Ⅰ	1	講義	高大連携単位互換科目					
	3	1	2	2	1	1	0	2 教養基礎Ⅱ	1	講義	高大連携単位互換科目					
	3	1	3	2	1	1	0	2 介護の日本語Ⅰ	1	演習	○					留学生科目
	3	1	3	2	1	1	0	1 介護の日本語Ⅱ	1	演習		○				留学生科目
	3	1	4	2	1	1	0	1 介護の日本語Ⅲ	1	演習			○			留学生科目
	3	1	4	2	3	1	0	2 介護の日本語Ⅳ	1	演習				○		留学生科目
	3	1	5	2	2	1	0	3 介護学習の基礎Ⅰ	2	演習		○				留学生科目
	3	1	5	2	2	1	0	7 介護学習の基礎Ⅱ	2	演習				○		留学生科目
自然の 理解	3	1	5	2	2	1	1	2 岐阜の自然	2	講義	○		○			
	3	1	5	2	2	1	1	4 ☆心理学	2	講義	○				◎	介護：こころとからだのしくみ
健康・生 活科学	3	1	5	2	2	1	0	4 ☆スポーツ科学論	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	5	2	2	1	0	8 ☆身体による表現活動（スポーツ実技）	1	実技	○	○	○	○		
言語と 文化	3	1	5	2	2	1	0	5 ☆言語による表現活動Ⅰ-1（コミュニケーション英語）	1	演習	○					
	3	1	5	2	2	1	0	9 ☆言語による表現活動Ⅰ-2（コミュニケーション英語）	1	演習		○				
	3	1	5	2	2	1	0	1 ☆言語による表現活動Ⅰ-3（コミュニケーション英語）	1	演習			○			未開講
	3	1	5	2	2	1	0	6 ☆言語による表現活動Ⅰ-4（コミュニケーション英語）	1	演習				○		未開講
	3	1	5	2	2	1	1	0 ☆言語による表現活動Ⅱ-1（コミュニケーション中国語）	1	演習	○					
	3	1	5	2	2	1	1	3 ☆言語による表現活動Ⅱ-2（コミュニケーション中国語）	1	演習		○				
	3	1	5	2	2	1	1	5 ☆言語による表現活動Ⅲ-1（コミュニケーション韓国語）	1	演習	○					
	3	1	5	2	2	1	0	2 ☆言語による表現活動Ⅲ-2（コミュニケーション韓国語）	1	演習		○				

領 域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンバール	授 業 科 目	単位 数	授業 形態	配 当 学 期				介護福祉士	備 考
											1 年次		2 年次			
											前期	後期	前期	後期		
言語と文化	3	1	5	2	2	1	1	☆海外研修（異文化交流）	2	演習	○		○		CAP対象外	
	3	1	5	2	2	1	1	☆海外短期留学Ⅰ	2	演習	○		○		CAP対象外	
	3	1	5	2	2	1	1	☆海外短期留学Ⅱ	4	演習	○		○		CAP対象外	
基礎演習	3	1	6	2	2	1	0	基礎ゼミナール	2	演習	◎			◎	介護：人間と社会	

1. 履修上の注意

- 1) 基礎科目より16単位以上修得すること。
- 2) ◎(必修)は、卒業や資格取得のために必ず修得しなければならない単位である。
- 3) ☆は、大学・短大部共通科目を示す。

2. 大学との共通科目について

中部学院大学と中部学院大学短期大学部の両学生は、一部の授業科目を共に受講することができます。それらの科目を、「共通科目」と呼びます（開講科目表の☆印参照）。共通科目の授業科目名は、大学・短大部で若干違うことがあります。時間割・授業科目コード表などでは、大学の科目名で表記されていますので、下記の表をもとに短大部の科目名と読み替えて対応して下さい。

なお、共通科目でも受講者数の関係で学科やクラスなどが限定されている科目があります。時間割を確認し、各自設定された時間に受講して下さい。

短期大学部科目名	単位数	大 学 科 目 名	単位数
キリスト教概論	2	キリスト教概論Ⅰ	2
情報活用論	2	情報活用論Ⅰ	2
身体による表現活動(スポーツ実技)	1	身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)	1
日本国憲法	2	日本国憲法Ⅰ	2
法学	2	法学Ⅰ	2

専 門 科 目 (社会福祉学科)

領域	学 科	履 修 コ ー ス	領 域	水 準	授 業 形 態	履 修 学 年	ナン バー	授業科目	単 位 数	授業 形態	配 当 学 期				介護 福祉 士	ビジ ネス 医療	備考
											1 年 次		2 年 次				
											前 期	後 期	前 期	後 期			
人間と 社会	2	2	1	3	1	1	0	2 社会福祉の基礎	2	講義		○			◎		
	2	2	1	3	1	1	0	1 人間関係とコミュニケーション	2	講義	○				◎		
	2	2	1	4	1	1	0	3 社会保障論	2	講義				○	◎		
	2	2	1	5	2	1	0	4 地域総合演習	2	演習				◎	◎		
介護	2	2	2	3	1	1	0	1 介護福祉論Ⅰ	2	講義	○				◎		
	2	2	2	4	1	1	2	1 介護福祉論Ⅱ	2	講義				○	◎		日本人クラス前期開講
	2	2	2	3	1	1	1	5 介護の基本A(生活文化と地域社会)	2	講義			○		◎		
	2	2	2	3	1	1	0	6 介護の基本B(予防と運動学)	2	講義		○			◎		
	2	2	2	3	1	1	2	2 介護の基本C(リハビリメント)	2	講義				○	◎		
	2	2	2	3	1	2	1	6 介護の基本D(健康管理)	2	講義			○		◎		
	2	2	2	3	2	2	0	7 介護コミュニケーション技術Ⅰ	1	演習		○			◎		
	2	2	2	4	2	2	0	8 介護コミュニケーション技術Ⅱ	1	演習		○			◎		
	2	2	2	3	2	2	0	2 生活支援技術(介護)Ⅰ	3	演習	○				◎		
	2	2	2	3	2	2	0	9 生活支援技術(介護)Ⅱ	2	演習		○			◎		
	2	2	2	4	2	2	1	7 生活支援技術(介護)Ⅲ	2	演習			○		◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	2	1	8 生活支援技術A(栄養・調理)	1	演習			○		◎		
	2	2	2	3	2	2	1	0 生活支援技術B(住居・被服)	1	演習		○			◎		
	2	2	2	3	2	2	1	1 生活支援技術C(レクリエーション)	1	演習		○			◎		
	2	2	2	3	1	2	0	3 介護過程Ⅰ	2	講義	○				◎		
	2	2	2	4	1	1	1	4 介護過程Ⅱ	2	演習		○			◎		
	2	2	2	4	2	2	2	4 介護過程Ⅲ	2	演習				○	◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	1	0	4 介護総合演習Ⅰ	1	演習	○				◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	1	1	2 介護総合演習Ⅱ	1	演習		○			◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	4	2	2	1	9 介護総合演習Ⅲ	1	演習			○		◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	4	2	2	2	3 介護総合演習Ⅳ	1	演習				○	◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	5	4	1	0	5 介護基礎実習 地域介護実習	2	実習	○				◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	5	4	1	1	3 介護過程実習	4	実習		○			◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	5	4	2	2	0 介護総合実習	4	実習			○		◎		介護福祉士資格希望者のみ
こころ とからだ のしくみ	2	2	3	3	1	1	0	3 発達と老化の理解A	2	講義		○			◎		
	2	2	3	3	1	1	0	1 発達と老化の理解B	2	講義		○			◎		
	2	2	3	4	1	2	0	4 認知症の理解A(医学)	2	講義	○				◎		
	2	2	3	4	1	2	0	8 認知症の理解B(生活支援と制度)	2	講義			○		◎		
	2	2	3	3	1	2	0	5 障害の理解A(身体障害)	2	講義			○		◎		
	2	2	3	3	1	2	0	6 障害の理解B(知的・精神障害)	2	講義				○	◎		
	2	2	3	3	1	1	0	2 こころとからだのしくみA	2	講義	○				◎		
	2	2	3	3	1	2	0	7 こころとからだのしくみB	2	講義			○		◎		
	2	2	3	3	2	2	0	9 こころとからだのしくみC	1	演習				○	◎		
医療的 ケア	2	2	4	3	1	2	0	1 医療的ケアA	2	講義			○		◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	4	4	2	2	0	2 医療的ケアB	1	演習				○	◎		介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	4	4	2	2	0	3 医療的ケアC	1	演習				○	◎		介護福祉士資格希望者のみ

領域	学 科	履 修 コ ー ス	領 域	水 準	授 業 形 態	履 修 学 年	ナ シ ン リ ア ル	授 業 科 目	単 位 数	授 業 形 態	配 当 学 期				介 護 福 祉 士	ビ ジ ネ ス 医 療	備 考
											1 年 次		2 年 次				
											前 期	後 期	前 期	後 期			
その他	2	2	5	5	1	1	0	1	災害介護	1	演習		○				
	2	2	5	7	1	2	0	1	高齢者と住まい	2	講義				○		
	2	2	5	7	1	2	0	4	介護保険事務管理論	2	講義				○		未開講
	2	1	5	7	2	2	0	2	リラクセーション・ケアⅠ	1	演習			○			履修人数の制限あり
	2	1	5	6	2	2	0	5	リラクセーション・ケアⅡ	1	演習				○		未開講
	2	2	5	6	1	2	0	6	障がいをもつ子どもの生活支援	2	講義				○		
	2	1	5	5	4	3	0	1	職業体験Ⅰ	2	実習	○				有給インターンシップ	
	2	1	5	5	4	3	0	2	職業体験Ⅱ	2	実習	○					
	2	1	5	5	4	3	0	3	職業体験Ⅲ	2	実習	○					
ビジネスデザイン、医療事務コース専門科目	2	3	2	3	1	1	0	1	美の健康科学Ⅰ	2	講義	○					未開講
	2	3	2	4	1	1	0	2	美の健康科学Ⅱ	2	講義		○				未開講
	2	3	2	3	1	1	0	3	リズムコミュニケーションⅠ	1	演習	○					
	2	3	2	4	1	1	0	4	リズムコミュニケーションⅡ	1	演習		○				
	2	5	1	3	1	1	0	1	仕事とマナーⅠ	2	講義	○					◎
	2	5	1	4	1	1	0	2	仕事とマナーⅡ	2	講義		○				◎
	2	5	1	4	1	2	0	1	ビジネス接遇論Ⅰ	2	講義			○			◎
	2	5	1	4	1	2	0	2	ビジネス接遇論Ⅱ	2	講義				○		◎
	2	5	7	3	1	2	0	3	現代マネジメント研究	2	講義			○			
	2	4	4	3	1	2	0	1	医療と法	2	講義			○			
	2	5	1	3	1	1	0	5	話法表現論	2	講義		○				◎
	2	5	1	3	1	1	0	6	話法活用論Ⅰ	2	講義			○			◎
	2	5	1	3	1	1	0	7	話法活用論Ⅱ	2	講義				○		◎
	2	5	1	3	1	1	0	3	視聴覚表現論Ⅰ	2	講義			○			
	2	3	2	4	1	2	0	7	視聴覚表現論Ⅱ	2	講義				○		
	2	5	6	3	2	1	0	1	メディア表現論Ⅰ	2	講義	○					◎
	2	5	6	4	2	1	0	1	メディア表現論Ⅱ	2	講義		○				◎
	2	5	6	3	2	2	0	1	映像活用論Ⅰ	2	講義			○			◎
	2	5	6	4	2	2	0	1	映像活用論Ⅱ	2	講義				○		◎ 未開講
	2	3	3	7	2	1	0	3	ネイルケアⅠ	1	演習	○					
	2	3	3	7	2	1	0	4	ネイルケアⅡ	1	演習	○					
	2	5	7	6	1	1	0	1	プライダルマネジメントⅠ	2	講義		○				
	2	5	7	6	1	2	0	1	プライダルマネジメントⅡ	2	講義			○			
	2	4	5	7	1	1	0	1	医療事務概論Ⅰ	2	講義	○					
	2	4	5	7	1	1	0	3	医療事務概論Ⅱ	2	講義		○				
	2	4	5	7	1	1	0	4	診療報酬請求事務Ⅰ	2	講義	○					
	2	4	5	7	2	1	0	5	診療報酬請求事務Ⅱ	2	講義	○					
	2	4	5	7	2	1	0	6	診療報酬請求事務Ⅲ	2	講義		○				
	2	4	5	7	2	1	0	7	診療報酬請求事務Ⅳ	2	講義		○				
	2	4	5	7	1	2	0	2	歯科医療事務概論Ⅰ	2	講義			○			
	2	4	5	7	1	2	0	8	歯科医療事務概論Ⅱ	2	講義				○		
	2	4	5	7	2	2	0	9	歯科診療報酬請求事務Ⅰ	2	講義			○			
	2	4	5	7	2	2	1	0	歯科診療報酬請求事務Ⅱ	2	講義				○		
	2	4	5	7	2	1	0	8	歯科助手実践の基礎	2	講義		○				
	2	4	5	7	3	1	0	1	歯科助手実習	1	実習		○				

領域	学科	履修 コース	領域	水準	授業 形態	履修 学年	ナシ ンリ パ ー ル	授業科目	単 位 数	授業 形態	配 当 学 期				介護 福祉 士	ビジ ネス 医療	備考
											1 年 次		2 年 次				
											前期	後期	前期	後期			
ビジネス デザイン、 医療事務 コース専門 科目	2	4	5	7	3	1	0	2	歯科助手実習指導	1	演習		○				
	2	4	4	3	1	1	0	1	職業体験指導	1	演習	○					
	2	4	4	3	1	1	0	2	美体験海外研修Ⅰ	1	演習	○					
	2	4	4	3	1	1	0	3	美体験海外研修Ⅱ	1	演習	○					
	2	5	7	3	1	1	0	1	人のからだところの基礎	2	講義	○					
	2	5	7	3	1	2	0	1	社会保障と医療保険のしくみ	2	講義			○			
	2	5	1	4	1	1	0	3	人を支えるコミュニケーション	2	講義		○			◎	
	2	5	1	4	1	2	0	3	くらしを支えるコミュニケーション	2	講義			○			
	2	5	1	4	1	2	0	4	地域を支えるコミュニケーション	2	講義				○	未開講	
	2	5	1	4	1	2	0	5	ライフプランとリスク管理Ⅰ	2	講義	○					
	2	5	1	4	1	2	0	6	ライフプランとリスク管理Ⅱ	2	講義			○			
2	5	7	5	2	2	0	1	地域総合演習	2	演習			◎				
卒業要件 (最低必要単位数)									専 門 科 目				50				
									基 礎 科 目				16				
									合 計				66				
介護福祉士取得要件 (最低必要単位数)									専 門 科 目				73		卒業要件の専門科目50単位に加え、 23単位の専門科目の取得が必要で す。		
									基 礎 科 目				16				
									合 計				89				

1. 社会福祉主事任用資格を取得するには、卒業を前提とし、さらに次の科目の中から3科目以上を履修し、単位を修得しなければならない。

※ 介護福祉コースの学生のみ取得可能。

授 業 科 目	備 考
社会学	
法学	
経済学	
心理学	
社会保障論	
介護福祉論Ⅰ	介護福祉論Ⅰ及び介護福祉論Ⅱで1科目とみなす。
介護福祉論Ⅱ	

2. レクリエーション・インストラクター資格を取得するには、介護福祉士資格の取得を前提とし、さらに次の科目の単位を修得しなければならない。

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンリ パ ー ル		授業科目	単 位 数	授業 形態	配 当 学 期				備 考
												1 年 次		2 年 次		
												前期	後期	前期	後期	
資格	2	2	5	7	1	2	0	7	レクリエーション論	2	講義			○		
基礎	2	2	5	3	2	3	0	8	身体による表現活動（スポーツ実技）	1	実技	○	○	○	○	基礎科目の再掲

〈注〉上記のレクリエーション・インストラクターに関わる資格関連科目は卒業要件に含まれません。

3. 国試対策等講座科目

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ン リ バ ー ル	授業科目	単位数	授業形態	配 当 学 期				備 考
											1 年 次		2 年 次		
											前期	後期	前期	後期	
専門	2	2	5	7	1	2	1	0	介護福祉士国家試験対策講座	2	講義			○	非卒業要件科目

4. 歯科助手資格（乙種第一・乙種第二）を取得するには、下の表にあるすべての科目を履修し、単位を修得しなければならない。

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ン パ ー ル	授業科目	単位数	授業形態	配 当 学 期				備 考	
											1 年 次		2 年 次			
											前期	後期	前期	後期		
基礎	3	1	2	2	1	1	1	0	情報活用論	2	講義	○		○		
専門	2	5	1	3	1	1	0	1	仕事とマナーⅠ	2	講義	○				
専門	2	5	1	4	1	1	0	2	仕事とマナーⅡ	2	講義		○			
専門	2	5	6	3	2	1	0	1	メディア表現論Ⅰ	2	講義	○				
専門	2	5	6	4	2	1	0	1	メディア表現論Ⅱ	2	講義		○			
専門	2	4	5	7	1	1	0	1	医療事務概論Ⅰ	2	講義	○				
専門	2	4	5	7	2	1	0	8	歯科助手実践の基礎	2	講義		○			
専門	2	4	5	7	3	1	0	1	歯科助手実習	1	実習		○			
専門	2	4	5	7	3	1	0	2	歯科助手実習指導	1	演習		○			
専門	2	5	1	4	1	1	0	3	人を支えるコミュニケーション	2	講義		○			

※歯科助手実習は、実習費が必要になります。

介護福祉コースで学習する科目の構成について

		1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期
基礎科目		キリスト教概論	スポーツ科学論 身体による表現活動		
		介護の日本語Ⅰ	介護の日本語Ⅱ	介護の日本語Ⅲ	介護の日本語Ⅳ
		介護学習の基礎Ⅰ		介護学習の基礎Ⅱ	
		③医療事務などの実務力や、有給インターンシップなどの体験学習を通して、具体的な就業力を養成し即戦力として活躍できる力をつけます。			
人間と社会	人間の尊厳と自立		社会福祉の基礎		
	人間関係とコミュニケーション 社会の理解	人間関係とコミュニケーション		社会学 社会保障論	
		基礎ゼミナール		地域総合演習	
介護	介護の基本	介護福祉論Ⅰ	介護の基本B 介護コミュニケーション技術Ⅰ 介護コミュニケーション技術Ⅱ	介護福祉論Ⅱ（日本人） 介護の基本A 介護の基本D	介護福祉論Ⅱ（留学生） 介護の基本C
	介護コミュニケーション技術				
	生活支援技術	生活支援技術（介護）Ⅰ	生活支援技術（介護）Ⅱ 生活支援技術B 生活支援技術C	生活支援技術（介護）Ⅲ 生活支援技術A	
	介護過程	介護過程Ⅰ		介護過程Ⅲ	
	介護総合演習	介護過程Ⅱ 介護総合演習Ⅰ	介護総合演習Ⅱ	介護総合演習Ⅲ	介護総合演習Ⅳ
	実習	介護基礎実習 地域介護実習	介護課程実習	介護総合実習	
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解		発達と老化の理解A 発達と老化の理解B		
	認知症の理解		認知症の理解A	認知症の理解B	
	障害の理解	障害の理解A		障害の理解B	
	こころとからだのしくみ	心理学 こころとからだのしくみA		こころとからだのしくみB	こころとからだのしくみC
医療的ケア				医療的ケアA	医療的ケアB 医療的ケアB
学科独自科目					○高齢者と住まい ○介護保険事務管理論 ○障がいがある子どもの生活支援 ○リラクゼーション・ケアⅡ
			○災害介護	○リラクゼーション・ケアⅠ	

科目の前に印がないのは資格必修科目
科目の前に○があるのは選択科目

ビジネスデザインコース / 医療事務コースで学習する科目の構成について

	1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期
基礎科目	○キリスト教概論	ライフステージと法 スポーツ科学論 身体による表現活動		
	○基礎ゼミナール			
※基礎科目より16単位以上修得すること。				
ビジネスデザインコース 医療事務コース 専門科目	美の健康科学Ⅰ	美の健康科学Ⅱ	現代マネジメント研究	
	リズムミックコミュニケーションⅠ	リズムミックコミュニケーションⅡ	医療と法	
			視聴覚表現論Ⅰ	視聴覚表現論Ⅱ
			映像活用論Ⅰ	映像活用論Ⅱ
	仕事とマナーⅠ	仕事とマナーⅡ		
		話法表現論	ビジネス接遇論Ⅰ	ビジネス接遇論Ⅱ
	メディア表現論Ⅰ	メディア表現論Ⅱ	話法活用論Ⅰ	話法活用論Ⅱ
	ネイルケアⅠ			
	ネイルケアⅡ			
		ブライダルマネジメントⅠ	ブライダルマネジメントⅡ	
	医療事務概論Ⅰ	医療事務概論Ⅱ		
	診療報酬請求事務Ⅰ	診療報酬請求事務Ⅲ		
	診療報酬請求事務Ⅱ	診療報酬請求事務Ⅳ		
			歯科医療事務概論Ⅰ	歯科医療事務概論Ⅱ
			歯科診療報酬請求事務Ⅰ	歯科診療報酬請求事務Ⅱ
		歯科助手実践の基礎		
		歯科助手実習		
		歯科助手実習指導		
	職業体験指導		○地域総合演習	
		美体験海外研修Ⅰ		
		美体験海外研修Ⅱ		
	人のからだとこころの基礎	人を支えるコミュニケーション	くらしを支えるコミュニケーション	地域を支えるコミュニケーション
	ライフプランとリスク管理Ⅰ		ライフプランとリスク管理Ⅱ	社会保障と医療保険のしくみ
		人を支える援助技術の基礎Ⅰ		
学科独自科目		災害介護		介護保険事務管理論
				高齢者と住まい
			リラクゼーション・ケアⅠ	リラクゼーション・ケアⅡ
			職業体験Ⅰ	
			職業体験Ⅱ	
			職業体験Ⅲ	

科目の前に○があるのは必修科目